

第3学年 外国語活動学習指導案

指導者 渡辺 公太郎

ALT カリーシャ・ヘンロン

1 単元名 「This is for you.」カードを送ろう! (Let's Try!! Unit7)

2 単元について

○教材観

本単元は、欲しいものを尋ねたり答えたりすることや、カードを作って贈る活動を通して、「What do you want?」や「~please.」、「This is for you.」などの英語表現に慣れ親しむことを主なねらいとしている。児童はUnit4では「色」を表す英語を、Unit5では「What do you like?」(相手に好きなものを尋ねる表現)を学習してきた。こうした既習表現を生かし、Unit7本単元のねらいにせまっていく。また、「Small Talk」を毎時間計画的に設定していくことで、児童が継続的に言語活動を行い系統的に英語の表現に慣れ親しめるように仕組んでいく。そして、児童に本時の学習内容を見通させ、めあての達成を目指していく。

そして本単元では、相手に気持ちを伝える場面として「運動会」を取り上げ、共に頑張った仲間に「がんばったね」を伝えたいという必然性をもたせ、最終的にグリーティングカードを作って渡すという活動につなげている。

○児童観

第3学年は、男子3名、女子8名(うち1名は知的学級在籍)、計11名である。本学級の児童は、初めての外国語活動から英語が大好きになり、英語学習の時間を毎週楽しみにしている。初めて歌う「Hello song」や初めて話す英語に対しては、英語の表出に慣れるまでは消極的である一方で、慣れて自信がつくと積極的に活動に取り組む活動の姿が見られる。授業以外でも、授業で使った英語を発する様子も見られる。

4月におこなった外国語に対するアンケート調査の結果は以下の通りである。

男子3名 女子7名 計10名(アンケート回答者10名)

| 質問事項 | 思う | どちらかと思う | あまり思わない | 思わない |
|--------------------------------|----|---------|---------|------|
| 英語の勉強は好きですか。 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 英語の勉強は大切だと思いますか。 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 外国語のことをもっと知りたいですか。 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 将来、英語を使って生活したり、仕事したりしたいですか。 | 2 | 8 | 0 | 0 |
| 授業では、英語について考える活動が行われていると思いますか。 | 5 | 5 | 0 | 0 |

| | | | | |
|---|----|----|---|---|
| 授業では、英語でたずね合う活動が行われていると思いますか。 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 授業では、自分のことや身の回りのことについて話す活動が行われていると思いますか。 | 0 | 10 | 0 | 0 |
| 単元の終わりに、授業で学んだことを使って自分のことを発表していると思いますか。 | 0 | 6 | 4 | 0 |
| 自分が英語を使って、何ができれば良いのか、目標がわかって学習をしていると思いますか。 | 0 | 6 | 4 | 0 |
| 振り返りをすることで、自分の学習を振り返ったり、次の学習でがんばりたいことを考えたりしていますか。 | 6 | 4 | 0 | 0 |

児童の意識調査の結果から、全員が英語を「好き」と答えており、前向きな気持ちで外国語活動に取り組んでいることがわかる。さらに、「もっと知りたい」「もっと使いたい」という思いがあることもわかる。そのことは、授業の様子からも感じ取れ、全員が授業の最初から最後まで集中して外国語活動に取り組む様子が見られている。

そして2学期に入り、9月に行った意識調査は次の通りである。 **【4月と比べて上昇した項目】**

| 質問事項 | 思う | どちらかと思う | あまり思わない | 思わない |
|--|----|---------|---------|------|
| 英語の勉強は好きですか。 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 英語の勉強は大切だと思いますか。 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 外国語のことをもっと知りたいですか。 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 将来、英語を使って生活したり、仕事したりしたいですか。 | 5 | 2 | 3 | 0 |
| 授業では、英語について考える活動が行われていると思いますか。 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 授業では、英語でたずね合う活動が行われていると思いますか。 | 9 | 1 | 0 | 0 |
| 授業では、自分のことや身の回りのことについて話す活動が行われていると思いますか。 | 4 | 4 | 2 | 0 |
| 単元の終わりに、授業で学んだことを使って自分のことを発表していると思いますか。 | 4 | 4 | 2 | 0 |
| 自分が英語を使って、何ができれば良いのか、目標がわかって学習をしていると思いますか。 | 5 | 4 | 1 | 0 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 振り返りをすることで、自分の学習を振り返ったり、次の学習でがんばりたいことを考えたりしていますか。 | 8 | 2 | 0 | 0 |
|---|---|---|---|---|

この結果から、外国語活動が始まって約半年が過ぎ、児童たちの中で英語の学習に対する認識がより明確になってきたことを感じる。特に、下から4つの質問事項に対する回答数は、4月と比べて大幅な上昇が見られ、児童の主体的な学びに深まりが表れている。一方で、学力的に厳しい児童がいる中で、単語や文法といった知識や技能を習得させていくことに課題を感じるようになってきた。児童の前向きな気持ちを英語嫌いにつなげることなく、そして学習内容が定着していくように考えていかなければならない。このアンケートについては、3学期も行う予定である。

○指導観

単元のゴールには、児童の「伝えたい」という思いで展開される題材を設定し、児童の興味・関心を高めるような活動が必要である。そこで、小学校の一年で最も大きな行事である運動会で、共に練習を頑張り、本番で力を出し切った仲間にありがどうの気持ちを込めて、グリーティングカードを贈る活動を設定する。「伝えたい、だからこそ知りたい」と児童の目標を明確にし、「では、どのように聞けば(話せば)良いのだろう」と思考させ、自ら判断し、表現させていく。また、既習表現を使ってやり取りをするために「Small Talk」を毎時間計画的に取り組んでいく。児童にとって必然性のある言語活動を通して、英語に慣れ親しませ、英語でのやり取りを楽しませたい。そのためには、児童の活動時間を保障し多く取っていききたい。そして、英語で自ら思考・判断・表現できる力の素地を身につけさせたい。

第3時の本時では、カードを渡す相手の好きな形や色を聞くなど、相手に喜んでもらうための情報集めを行う。渡し手は「相手に喜んでもらえるグリーティングカードを作る」という目的で情報を集め、もらい手は、「相手が自分のどのようなことを知りたいのか」を考えながらやり取りをする。また、ペアやグループ活動を取り入れ、児童同士で助け合えるようにすることで、やり取りに苦手感をもつ児童が活動に参加しやすくなるようにしていく。

今回、授業で児童が作成するグリーティングカードは、図工の授業と連携し、作成については図工の時間で行うこととした。

【本単元に関わる主な言語教材】

(新出表現)

What do you want?, What shape do you like?

~please., This is for you., Thank you., You're welcome., Here you are.

(新出語彙)

形 (square, rectangle, star, diamond, circle, heart, triangle)

(既出表現)

How many?, Do you like~?, I like~., What~do you like?

(既出語彙)

色 (blue, red, green, yellow, pink, orange, black, purple, white, brown)

気持ち (fine, good, sleepy, tired, great, happy)

3 校内研との関わり

今年度の校内研のテーマは「進んで学び 確かな学力をもつ児童の育成」、サブテーマは「英語で伝え合う力の育成を通して」である。2020年に新学習指導要領が全面実施され、3年生以上で英語に関わる学習活動が計画的・体系的に行われるようになった中、本年度より2年間、本校は小学校英語教育の向上を目指す「英語教育改善プラン推進事業」推進校として、外国語活動及び外国語について研究することとなった。グローバル社会に生きる児童に求められる英語による発信力向上を目指し、実際の目的・場面・状況に応じた英語を活用する課題を設定し、指導・評価するモデルを研究の中で考えていく。

特に、言語活動や関わり合いを生かして考えを深める工夫として、課題に対する学びの必然性を児童にもたせることを意識している。どうしてその活動をするのか、なぜできるようになりたいのか、英語を使った活動に必然性をもたせることで、「英語を使いたい」、「もっと知りたい」といった意欲を高め、活発な言語活動につなげたい。

4 「CHALLENGE リスト」の形での学習到達目標 (第3学年)

| 話すこと〔やり取り〕 |
|--|
| 学級の友達、先生、ALT等のサポートを受けて、自分のことや相手のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりすることができる。 |
| 関係する領域別目標:話すこと〔やり取り〕ウ |

5 単元の目標

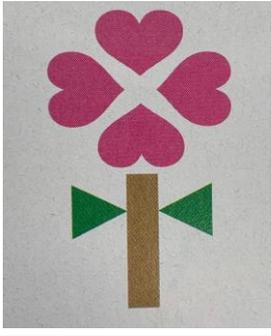
学級の友だちに「運動会」で共に頑張った気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形など、相手が喜ぶものについて、尋ねたり答えたりして伝え合う。

6 単元の評価規準

| 観点 | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------|--|--|---|
| 話すこと (やり取り) | 色や形の言い方や欲しいものを尋ねたり、答えたりする表現を話すことに慣れ親しんでいる。 | 学級の友達に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、カードを渡す相手に伝わるように工夫しながら、色や形など、身の回りの物について、欲しいものを尋ねたり答えたりして、伝え合っている。 | 学級の友達に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、カードを渡す相手に伝わるように工夫しながら、色や形など、身の回りの物について、欲しいものを尋ねたり答えたりして、伝え合おうとしている。 |

7 単元の指導と評価の計画（全5時間）

| 時 | 目標(◆) 主な活動(○) アクティビティ(・) 誌面化されている活動(【】) | 評 価 | | | |
|---|--|--------|-------------|--------|--|
| | | 知 技 | 思 判 表 | 態 度 | ◎評価規準<評価方法> |
| 1 | <p>◆日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、形や身の回りの物を表す言い方を知る。</p> <p>○「Hello song」 <Small Talk> *Small Talk リストA を参照</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時で触れる英語表現 形 (square, rectangle, star, diamond, circle, heart, triangle) What do you want?</p> </div> <p>○誌面には何があるかな。 ・誌面にあるものなどを発表する。 【Let's Play 1】シェイプ・クイズ p.26, 27 ・シルエットを見てそれが何かを当てる。 【Let's Play 2】ポインティング・ゲーム p.26, 27 ・ペアや個人で行う。 【Let's Watch and Think】p.28 ・誌面の5種類のカードを見て、カードに記された模様などからそれらが何のカードかを考えて発表する。</p> <p>○指導者が作成したグリーティングカードを見て、最終的に「運動会」で頑張った仲間にグリーティングカードを贈る活動を見通させる。 【Let's Chant】What do you want? p.27 ○振り返りをする。</p> | | | | <p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p>日本語と英語の音声の違いに気付いている。 <行動観察></p> |
| 2 | <p>◆形の言い方に慣れ親しむとともに、欲しいものを表す表現を知る。</p> <p>○「Hello song」</p> | | | | <p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> |

| | | | | |
|-----------------|--|--------------|--|--|
| | <p><Small Talk> *Small Talk リストB を参照</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>本時で触れる英語表現 What shape do you like? I like~.</p> </div> <p>○ミッシング・ゲーム 【Let's Watch and Think】p.28 ・映像資料を見て、気持ちを届け合うためにさまざまなカードがあることを知るとともに、今後の活動への意欲を高める。 ・映像資料の音声を聞いて、何のカードかを確認するとともに、季節や行事などの挨拶の言い方を知る。</p> <p>○カードを作ろう。 【Let's Listen】p.29 ・リスニング活動や指導者の作品を通して、カードの作品例を知る。 【Let's Chant】What do you want? p.27 ○振り返りをする。</p> | | | <p>日本語と英語の音声の違いに気付いている。<行動観察></p> |
| <p>3 本時</p> | <p>◆色や形、好きなものや欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○「Hello song」 <Small Talk> *Small Talk リストC を参照</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>本時で触れる英語表現 ~please. What do you want? Do you like~? Yes,I do. No,I do'nt. What~do you like? I like~.</p> </div> <p>○マッチングゲーム</p> <p>○カードを渡す相手に喜んでもらうために、相手の好きな色や形などを聞く。また、もらい手は相手がどのような情報がほしいのか聞き取り、答える。 ・英語で伝え合う活動を通して、グリーティングカード作り</p> | <p>○ ○ ○</p> | | <p>◎色や形、好きなものや欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。<行動観察・アイデアシート></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>教科書の例</p>  </div> |

| | | | | | |
|---|--|--|--|--|---|
| | <p>の情報を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取ったことを, アイデアシートに描き出す。 ○振り返りをする。 | | | | |
| 4 | <p>◆相手に感謝の気持ちを伝えるグリーティングカードの材料を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Hello song」 〈Small Talk〉 *Small Talk リストD を参照 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時で触れる英語表現</p> <p>What do you want?</p> <p>How many?</p> <p>~please.</p> <p>You're welcome.</p> <p>Here you are.</p> </div> <p>【Let's Chant】What do you want? p.27</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童はカードに使う材料セット(児童は同じ数ずつ1セット持っている)の中から使いたい材料を選ぶ。そして, 児童同士で使わない材料の交換を英語で伝え合い行う。 ・いろいろな人と英語で伝え合う活動を通して, グリーティングカード作りの素材を集める。 ・デジタル教材を視聴し, カードの紹介の仕方を知り, 次時への見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ○振り返りをする。 | | | | <p>◎グリーティングカードを作るために必要な材料の集め方を知り, 表現している。<行動観察></p> |

| | | | | | |
|---|--|--|--|--|---|
| 5 | <p>◆相手に伝わるように工夫しながら,自分の作品を紹介しようとする。 〈Small Talk〉 *Small Talk リストEを参照</p> <div data-bbox="236 398 715 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時で触れる英語表現 This is for you. What's this?</p> </div> <p>【Activity】p.29 ・作品を紹介する練習やカードを贈る練習をする。 ・作品を紹介し合う。 ・カードを贈る。</p> <div data-bbox="236 846 715 1451" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>会話の例文 A・B:Hello.(全員に) A:This is my card. B:OK! A:Four pink hearts. One red circle. One green rectangle. Two green triangles. This is for you. Here you are. B:Thank you. A:You're welcome.</p> </div> <p>○振り返りをする。</p> | | | | <p>◎相手に伝わるように工夫しながら,自分の作品を紹介している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> |
|---|--|--|--|--|---|

8 本時の学習(3/5時間)

(1)日時 10月20日(水) 5校時13:45~14:30

(2)場所 3年教室

(3)目標

グリーティングカードを作るために,必要な情報について尋ねたり,答えたりして伝え合う。

(4) 本時展開

| 時間 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 指導上の留意点 ◎評価規準(評価方法) |
|-----|--|---|------------------------|
| 10分 | <p>・挨拶をする。 【Hello song】 ・音声に合わせて歌う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈Small Talk〉 HRT : Look. There are many color papers. ALT : <色画用紙を見せながら>What color is this? STU: Red! ALT : Yes, it's red. <同様に色の確認をする> ALT : What color do you like? <4~5人の児童にたずねる> STU : I like blue. HRT: Let's ask Kalesha sensei. STU: What color do you like? ALT: I like yellow. STU: yellow が好きなんだ!</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「運動会がんばったね」カードを作るためのヒントを相手から聞きだそう。</p> </div> | <p>・全体で挨拶する。</p> <p>・〈Small Talk〉による本時の活動の見通しをもたせる。</p> | |
| 10分 | <p>【ラッキーカードゲーム】 ・英語で形の言い方を復習する。 ・3枚のカードを持って相手とカードを交換し合う。</p> | <p>・やり取りのデモンストラーションを ALT と行う。</p> | |

| | | | |
|------------|---|--|--|
| <p>20分</p> | <div data-bbox="247 212 758 672" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>会話の例文 お互い:Hello. A:What do you want? (自分のカードを見せながら) B:Heart please. A:OK. Here you are. B:Thank you. (役割を交代して同様に行う) お互い:Bye.</p> </div> <p>・ラッキーカードを確認する。</p> <p>【Activity】 ・カードを渡す相手に喜んでもらったり,感謝の気持ちを伝えたりするには,どのようなカードを作ったら良いか,相手から情報を聞き出す。</p> <div data-bbox="239 1064 758 1523" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>会話に使う表現 What shape do you like? What color do you like? What ~ do you like? (スポーツ・アニメ・動物など) Do you like 玉入れ? Do you like リレー? Do you like ~ ? (運動会で頑張った種目・思い出など)</p> </div> <div data-bbox="239 1601 758 1960" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>会話例 A:What shape do you like? B:I like star. A:What color do you like? B:I like blue. A:Do you like 玉入れ? B:Yes. I do.</p> </div> | <p>・やり取りのデモンストレーションをALTと行う。</p> <p>・色ごと(赤・青・黄)の3グループに分かれて活動させる。</p> <p>・自分たちでやり取りの工夫に気づかせるために,最初から多くのヒントは与えない。</p> | <p>◎相手の欲しいものを知ったり自分の欲しいものを伝えたりするために,相手に伝わるように工夫しながら尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・アイデアシート〉</p> |
|------------|---|--|--|

| | | | |
|----|--|---|--|
| | <p>・2組のペアが自分たちの工夫を発表し、全体で共有する。</p> <p>・聞いたことをアイデアシートに記録する。</p> | <p>・活動の途中で、質問の仕方に工夫が見られた児童に、どういった質問をしたか全体で発表してもらい、いろいろな質問の仕方に気づかせる。</p> | |
| 5分 | <p>・「Google フォーム」のアンケートに記入して、本時の活動を振り返る。</p> <p>・挨拶をする。</p> | | |

(5) 評価規準

「話すこと(やり取り)」の思考力・判断力・表現力

| A | B | C |
|--|--|------------|
| 相手の欲しいものを知ったり自分の欲しいものを伝えたりするために、相手に伝わるように工夫しながら既習語句や表現を使って、尋ねたり答えたりしている。また、状況に応じた受け答えを行っている。 | 相手の欲しいものを知ったり自分の欲しいものを伝えたりするために、相手に伝わるように工夫しながら尋ねたり答えたりしている。 | Bを満たしていない。 |

「話すこと[やり取り]」の主体的な学習に取り組む態度

| A | B | C |
|---|---|------------|
| 相手の欲しいものを知ったり自分の欲しいものを伝えたりするために、相手に伝わるように工夫しながら尋ねたり答えたりしようとしている。また、状況に応じて受け答えを行おうとしている。 | 相手の欲しいものを知ったり、自分の欲しいものを伝えたりするために、相手に伝わるように工夫しながら尋ねたり答えたりしようとしている。 | Bを満たしていない。 |

Small Talk リスト

A

第1時

HRT : Look at this picture. <校長先生の写真を見せる>

Who is this?

STU: 校長先生!

HRT : Yes, this is 校長先生

ALT : What's this? <オリンピックのエンブレムを見せる>

STU: オリンピック!

HRT : That's right. 校長先生聖火リレー, とっても頑張っていたよね。

その姿にすごく勇気をもったから, それで先生は校長先生にありがとうの気持ちを伝えたいんだ。

ALT : That's a good idea!

HRT : Look at this. I made it. <カードを見せる>

Is it nice? Is it good?

STU: あんまり良くな〜い。もう少しきれいな方がいいな。

HRT: なにが足りないのかな?

STU: もっと絵を増やせば? クーピーを使ったら?

HRT : そうだね。どんな工夫をすればすてきなカードになるか, これから考えてみよう。

B

第2時

HRT : Look. There are many shapes.

ALT : <形のカードを見せながら>What's this?

STU: まる! circle!

ALT : Yes, it's a circle. <同様に形の確認をする>

ALT : What shape do you like? <4~5人の児童にたずねる>

STU: I like star. I like triangle.

HRT : Let's ask Kalesha sensei.

STU: What shape do you like?

ALT : I like circle.

STU: circle が好きなんだ〜

C

第3時

HRT : Look. There are many color papers.

ALT : <色画用紙を見せながら>What color is this?

STU: Red!
ALT : Yes, it's red. <同様に色の確認をする>
ALT : What color do you like? <4~5人の児童にたずねる>
STU : I like blue.
HRT: Let's ask Kalesha sensei.
STU: What color do you like?
ALT: I like yellow.
STU: yellow が好きなんだ!

D

第4時

HRT: Let's make 運動会頑張ったね card.
校長先生に質問して、いろいろな情報を集めてきました。
カリーシャ先生が材料を持っているので、今からもらうね。
ALT : What do you want?
HRT:校長先生 likes yellow. I want two yellow stars.
ALT : Here you are.
HRT : Thank you.

E

第5時

HRT: We have a special guest today.
Please come in. <校長先生が教室に入ってくる>
STU : Hello! 校長先生!
HRT : This is my card.
What's this?
STU : Flower!
HRT :That's right.
Four pink hearts.
One red circle.
One green rectangle.
Two green triangles.(校長先生はたくさん草取りを頑張ってくれていたから緑を入れました。)
This is for you.
Here you are. <カードを渡す>
校長先生:Thank you. I'm happy.
HRT : You're welcome.
校長先生 is happy. I' m happy, too.
このあとみんなもカードを渡そう。



Google クラスルームでのふり返しアンケート計画

ICT を使ったふり返し活動について

文部科学省により進められている『GIGA スクール構想』。本校においても、3年生以上に一人一台端末「クロームブック」が整備された。そこで、Google クラスルームの質問機能を活用し、児童の学習の定着等の状況を把握する。

第1時 形についてのえい語を言うことができましたか？

よくできた ・ できた ・ 教えてもらってできた ・ まだおぼつかしい

第2時 ほしい形をつたえたり、たずねたりするえい語を使うことができましたか？

よくできた ・ できた ・ 教えてもらってできた ・ まだおぼつかしい

第3時 色や形、すきなものやほしいものをつたえたり、たずねたりすることができましたか？

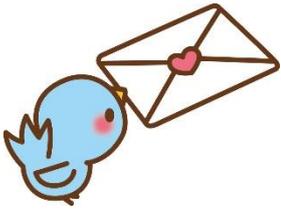
よくできた ・ できた ・ 教えてもらってできた ・ まだおぼつかしい

第4時 カードを作るためにひつような形をえい語でつたえ、集めることができましたか？

よくできた ・ できた ・ 教えてもらってできた ・ まだおぼつかしい

第5時 自分のカードのデザインについて、みんなにつたえることができましたか？

よくできた ・ できた ・ 教えてもらってできた ・ まだおぼつかしい



Unit7 がんばったねカードを作ろう！

_____番 名前_____

(1) だれにカードを書きますか？

_____ さん



(2) インタビューしたことをメモしましょう。(好きな色や形など)

-
-
-
-

どんなカードにしたいか、イメージを書いてもいいです。



えいご ふりかえりシート <3年生>

_____番 名前_____

| | |
|--|---|
| <p>Unit 7</p> <p>This is for you.</p> <p>カードをおくろう</p> | <p><めあて> ほしいかたちをたずねよう・つたえよう</p> <p>ともだちにカードをおくろう</p> |
| <p>よくできた🌸 できた◎ 教えてもらってできた○ まだむずかしい△</p> | |
| <p>1. 自分がほしいかたちをつたえた</p> |  |
| <p>2. 友だちになにかほしいかたずねた</p> |  |
| <p>3. 相手に気持ちがつたわるようにカードをわたせた</p> | |
| <p>Unit7の学習をふりかえって書いてみよう。</p> <p>(わかったこと・できるようになったこと…など)</p> <div style="text-align: right;">  </div> | |